

第16回東北精神保健福祉学会宮城大会 震災シンポジウム 開催内容

【開催日時】 2025年10月5日（日）9：15～10：30

【テーマ】 「こころの絆を考える―東日本大震災から14年 今そしてこれから―」

【シンポジウム趣旨】

2011年3月11日に発生した東日本大震災から14年が経過する。この間、被災者の心のケアや住民のメンタルヘルスに関する普及啓発事業等を実施してきたみやぎ心のケアセンターが2025年12月を持って閉じることになった。

このシンポジウムでは、14年の被災地での心のケアに対する取り組みを、心のケアセンターとして、自治体として、それぞれの立場で振り返り、今そしてこれからの宮城県における精神保健福祉のあり方を検討したい。

【シンポジウム内容】

シンポジスト（各15分）

1. みやぎ心のケアセンター 副センター長 山崎 剛 氏
2. 岩沼・亘理地区から 岩沼市 佐野 玲子氏
3. 石巻地区、気仙沼地区から 南三陸町 佐藤奈央子氏

指定発言（10分） 宮城県精神保健福祉センター センター長 小原 聡子先生

討 論 （15分～20分）

座長：渡部 裕一氏（みやぎ心のケアセンター）

香山 明美（東北文化学園大学・第16回東北精神保健福祉学会宮城大会大会長）

合同特別講演 ※東北精神神経学会との合同企画

【開催日時】 2025年10月5日（日）14：30～15：30

【講 師】 甲南大学名誉教授の森茂起先生

【テーマ】 （仮）「阪神・淡路大震災から30年、東日本大震災から15年を迎え、
平時からのトラウマケアのあり方を考える」

【場 所】 東北大学医学部星陵会館・星陵オーデトリウム2階講堂

並びにWEB配信によるハイブリッド開催を想定